

## 「サクラマスがのぼる川の在来知」

—岩手県閉伊川流域における環境教育の実践—

(日時) 平成28年12月17日 (土) 13:00～17:00

(場所) 東京海洋大学越中島キャンパス越中島会館

### < プ ロ グ ラ ム >

---

13:00 開会挨拶 ニッセイ財団 常務理事事務局長 伯井 穂文

13:10 研究プロジェクトの総括報告  
総合地球環境学研究所・カリフォルニア大学バークレー校  
羽生 淳子

#### 第1部：閉伊川流域

13:30 「ハマの絵解き地図が持つカー在来知を今につなぐ調査の試み—」  
東京大学 福永 真弓

13:50 「川のサクラマスがつなぐ山と海—子どもたちと一緒に考える科学知と在来知—」  
東京海洋大学 佐々木 剛、さんりくESD閉伊川大学校 水木 高志

14:10 「ヤマは宝だ—北上山地における食の多様性と保存・加工の知恵—」  
総合地球環境学研究所 真貝 理香、羽生 淳子

14:30 「ヤマを生かす焼畑—生態学からみた土と森—」  
横浜国立大学 金子 信博

14:50 休憩

#### 第2部：比較研究

15:05 「ウルシを中心とした人と生態系—岩手県浄法寺における生業の多様性と在来知—」  
青森県庁 伊藤 由美子、羽生 淳子

15:25 「核被災と社会のレジリエンス—福島県内における小規模経済の新しい試み—」  
福島大学 後藤 康夫、奥羽大学 後藤 宣代、羽生 淳子

#### 第3部：コメント、総合討論

15:45 コメント NPO法人いわてマリンフィールド 橋本 久夫、弘前大学 杉山 祐子  
東北文化学園大学 岡 恵介、千里文化財団 小山 修三

16:25 総合討論・質疑応答

17:00 閉会